

床カラ階段 施工説明書

この度は、弊社製品をご採用いただきましてありがとうございます。
本製品は、一般住宅内装用の製品ですので、屋外には使用しないでください。
施工の際には、必ず本説明書をお読みのうえ、正しい方法で施工してください。

◆表示内容を無視して誤った取り扱いをした場合に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分します。



警告 取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷に結びつく可能性のあるもの。



注意 取り扱いを誤った場合、使用者が傷害または、家屋・家財などの損害に結びつくもの。

◆お守りいただく内容の種類を次の記号で区分します。



この記号は製品の取り扱いにおいて、必ず指示に基づく行為をおこなわなければならないもの。



この記号は製品の取り扱いにおいて、その行為をおこなってはいけないもの。



この記号は製品の取り扱いにおいて、指や手を挟まれないよう注意するもの。



この記号は製品の取り扱いにおいて、注意すべきこと。



警告

同梱されている取り付けビス、その他部品は本製品の専用品となります。

本製品の施工以外にこれらを使用した場合、部品の脱落や破損等が発生し、重大事故につながる可能性があります。
本製品以外にこれらを使用したことによる如何なる事故や不具合等に対しては、責任を負いかねますのでご注意ください。



○接着剤について

本製品は施工に接着剤を使用します。踏み鳴り防止のため必ずご使用ください。
フロア材の施工には必ず木質床材施工用ウレタン樹脂系接着剤をご使用ください。

●推奨品(フロア用)

- ・株)オーシカ製 : セレクティUR-20
- ・コニシ(株)製 : 床職人KU928C-X
- ・オート化学工業(株)製 : オートンアドハ-8500

●推奨品(下地材、その他)

- ・コニシ(株)製 : ボンド 木工用



○階段ご注文前の注意事項

- ・階段には建築基準法や、条例などのさまざまな規制があります。
ご注文前に必ず確認していただき、規制を守った施工をしてください。



○施工前の確認

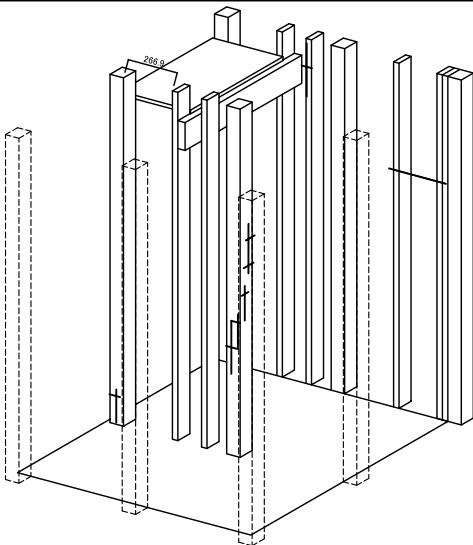
強制

- 1).納品時には部材に損傷が無いか必ずご確認ください。
取付け後の損傷クレームについては責任を負いかねますので、商品に不都合な点がありましたら、必ず施工前に販売店にご連絡ください。
- 2).仮並べを行ってください。
この商品は現場での加工を省略し、短時間での階段施工が出来るように加工されています。
仮並べを行い位置関係及び、寸法を確認してから施工してください。
- 3).部材の保管は、湿気や直射日光の当たる場所を避け床面が水平な場所に保管してください。
反りやネジレの原因になります。
- 4).塗装済み部材をシンナーなどで拭かない様にしてください。
色ムラが出来る原因になります。
- 5).安全な作業環境を整え、危険の無い施工を行ってください。

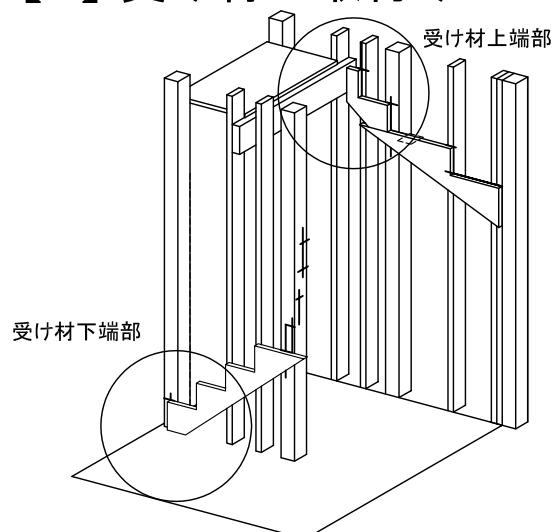
施工手順例

【1】床仕上げ、墨出し

- ①受け材を受ける部分の床は階段施工前に仕上げてください。
※上階の床は上段框取付け後に貼ってください。
- ②柱芯(間柱芯)を墨出ししてください。
- ③受け材接続部分付近の各段の踏板天端の高さを墨出ししてください。
(段数 × 跳上げ寸法)-踏板厚さ-フロア厚さ
- ④受け材の接続位置を墨出ししてください
(内廻り部分は内廻り受け材位置もしくは、柱欠き込み位置)。



【2】受け材の取付け



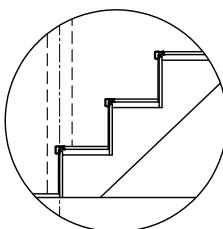
①【1】で出した墨を基準に受け材を取付けてください(左図参照)。
その際、加工された受け材と墨が合わない場合は現場にて調整を行ってください。

②内廻り部分の柱に踏板を差し込む場合は、柱を加工してください。
(内廻り受け材を使用する場合は不要です。)

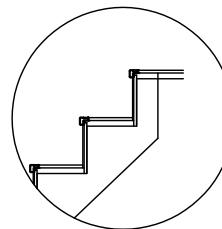


※受け材を現場調整すると踏板が合わなくなる場合がありますのでご注意ください。

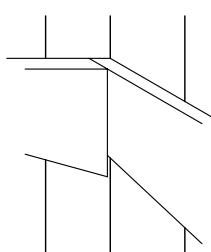
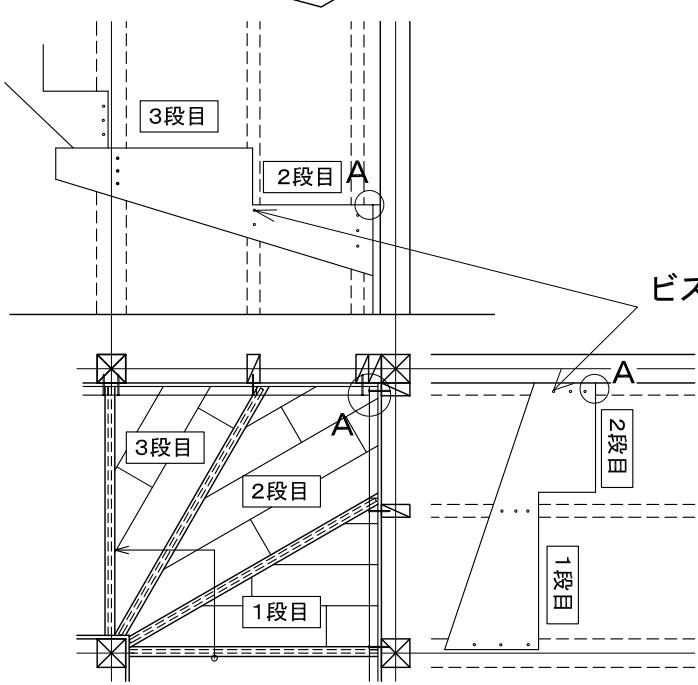
※蹴込下地材の前面が柱芯の位置になるように位置を確認してください。



受け材下端は
床合板上面で
カットされています。

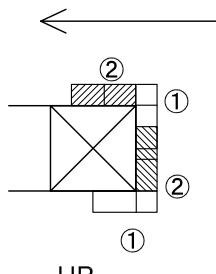


受け材上端は
上框後端で
カットされています。



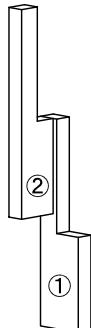
A部詳細

※廻り受け材は下勝ちになります。



3段内廻り受け材配置

※上図は6段廻りの場合

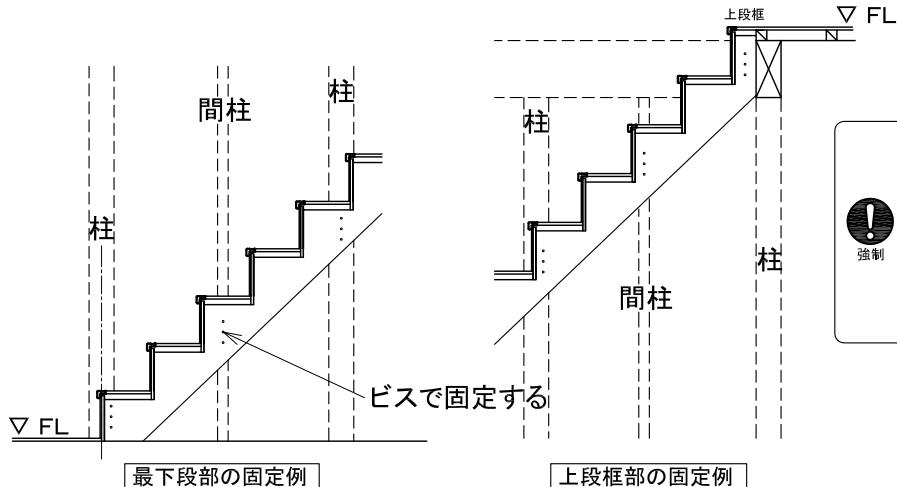


3段内廻り受け材姿図

廻り受け材の固定例



内廻り受け材を使用しない場合は、内廻りの柱に固定してください。



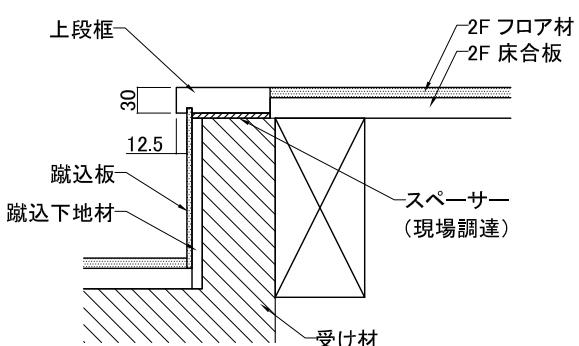
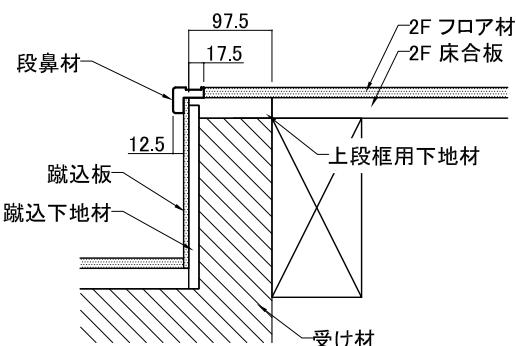
上段框の施工例

◆2Fフロア材と連続させる場合(推奨)

2Fフロアを段鼻材の位置まで貼り込んでください。
※上段框用のフロア材は同梱されておりません。

◆上段框を使用する場合

厚さ30mm、鼻の出12.5mm、蹴込み溝幅6mmの上段框を使用してください。
上段框天面とフロア材天面が面になるようにスペーサー(現場調達)で高さを調節してください。



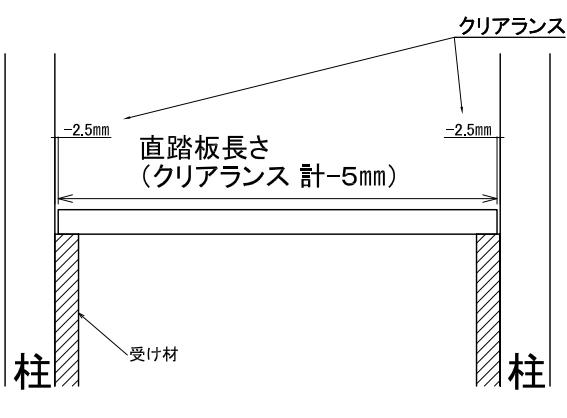
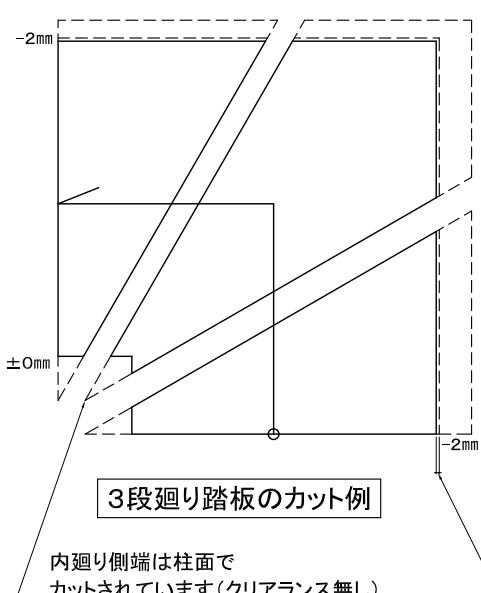
【3】踏板下地材の加工

・踏板下地材外寸のクリアランス設定

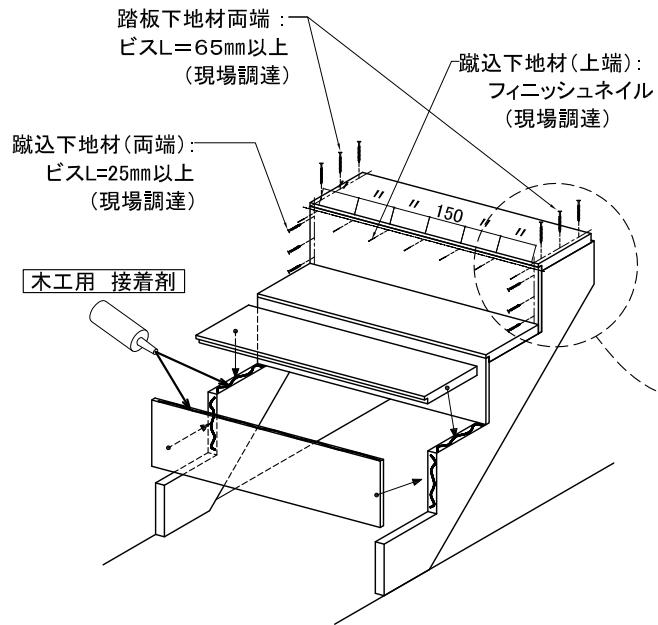
廻り部分 = “外廻り側”に-2mm
“内廻り側”は柱面でカット
直部分 = -5mm



廻り部分は内側と外側の位置関係を確認してください。



(4) 直踏板下地材、蹴込下地材の取付け

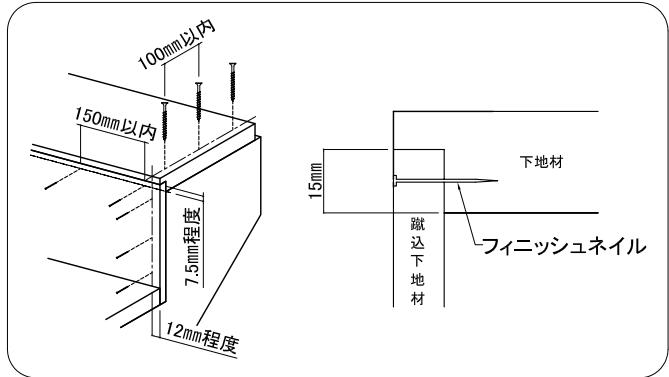


⚠ 直踏板は左右2.5mmずつ、合計5mm短くカットされています。
(施工時のクリアランス)

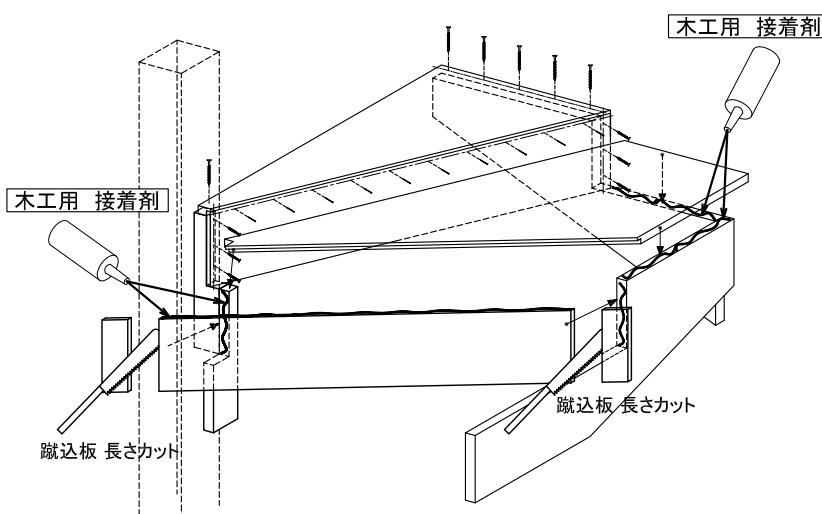
- ① 踏板下地材と蹴込下地材を受け材に固定してください。
上の段から順に固定していくと作業がしやすいです。



*踏み鳴り防止のため必ず接着剤を使用してください。
*ビスを打つ際は、必ず下穴をあけてから行ってください。



廻り踏板下地材、蹴込板の取付け



- ② 直部分と同様にして受け材に固定してください。
蹴込板は長さ方向の調整カットをしてください。
(幅は正寸カットされております。)

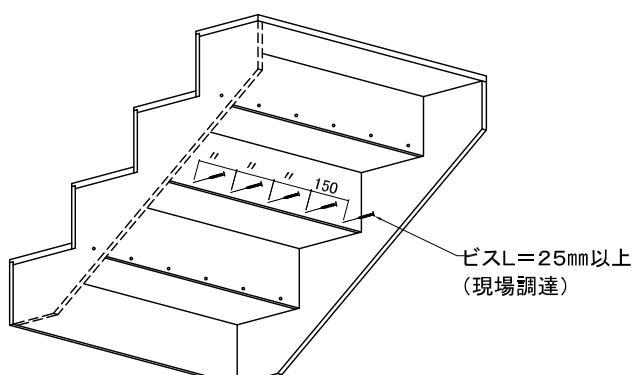


*廻り踏板内廻り側の柱欠き込みは柱型に合わせて
現場にて行なってください(内廻りカット無しの場合)。
*廻り踏板のクリアランスは外廻り側に設けられています。
内側に寄せて取付けてください。



廻り踏板は“外廻り側”が-2mm
“内廻り側”は柱面
でカットされています。
(施工時のクリアランス)

蹴込板 裏側からの固定



- ③ 蹊込板の裏側から踏板下地材へビスを打ち固定してください。

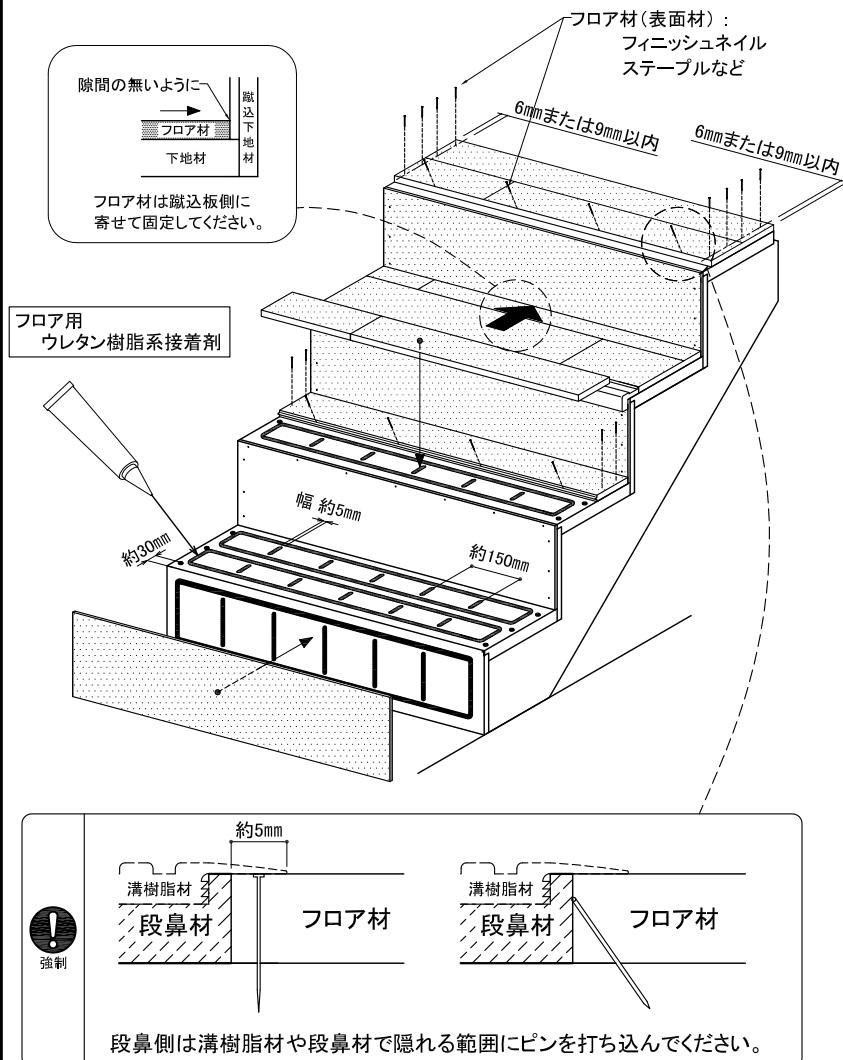


*ビスは150mmピッチ間隔でL=25mm以上
(現場調達)を使用してください。

ここまででの状態で下地先行階段としてご使用いただけます。
化粧部材を施工されるときはゴミやほこりを取り除き、濡れてい
る場合は完全に乾かしてから表面材を施工してください。

【6】直部フロア材、蹴込板の取り付け

P.05

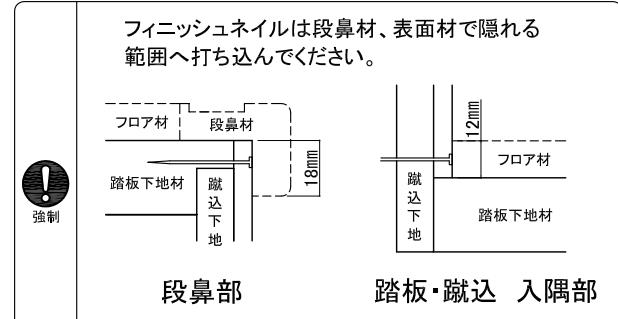


①下地材に付着しているゴミやほこりを取り除いてください。



濡れている場合は完全に乾かしてからフロア材を施工してください。

②蹴込板をケコミ下地材に固定してください。

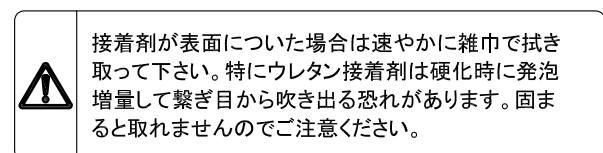


③フロア材を踏板下地材に固定してください。

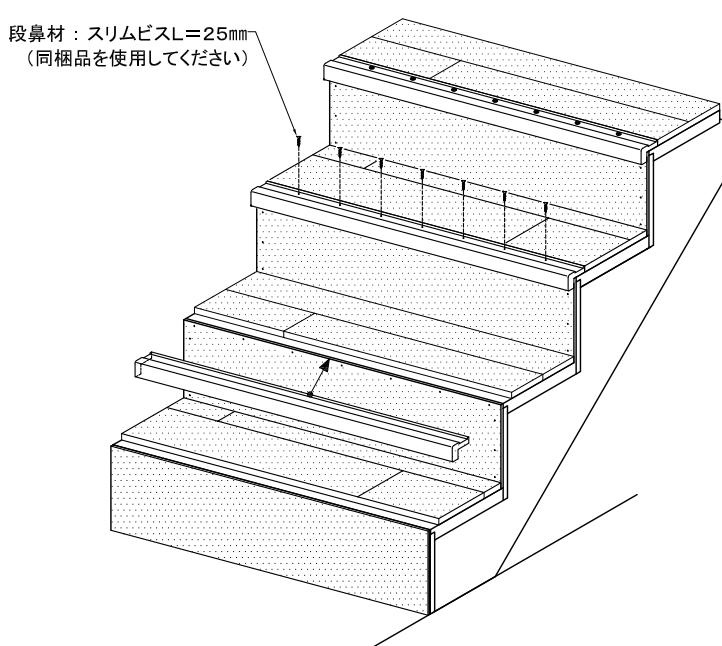
さね部分がマスキングテープで仮止めされているため、剥がしてから1枚ずつ固定してください。



※踏み鳴り防止のため必ずフロア用の接着剤を使用してください。
※フロア材の反りなどによる浮きが無いことを確認してください。



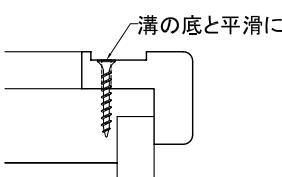
段鼻材の取付け

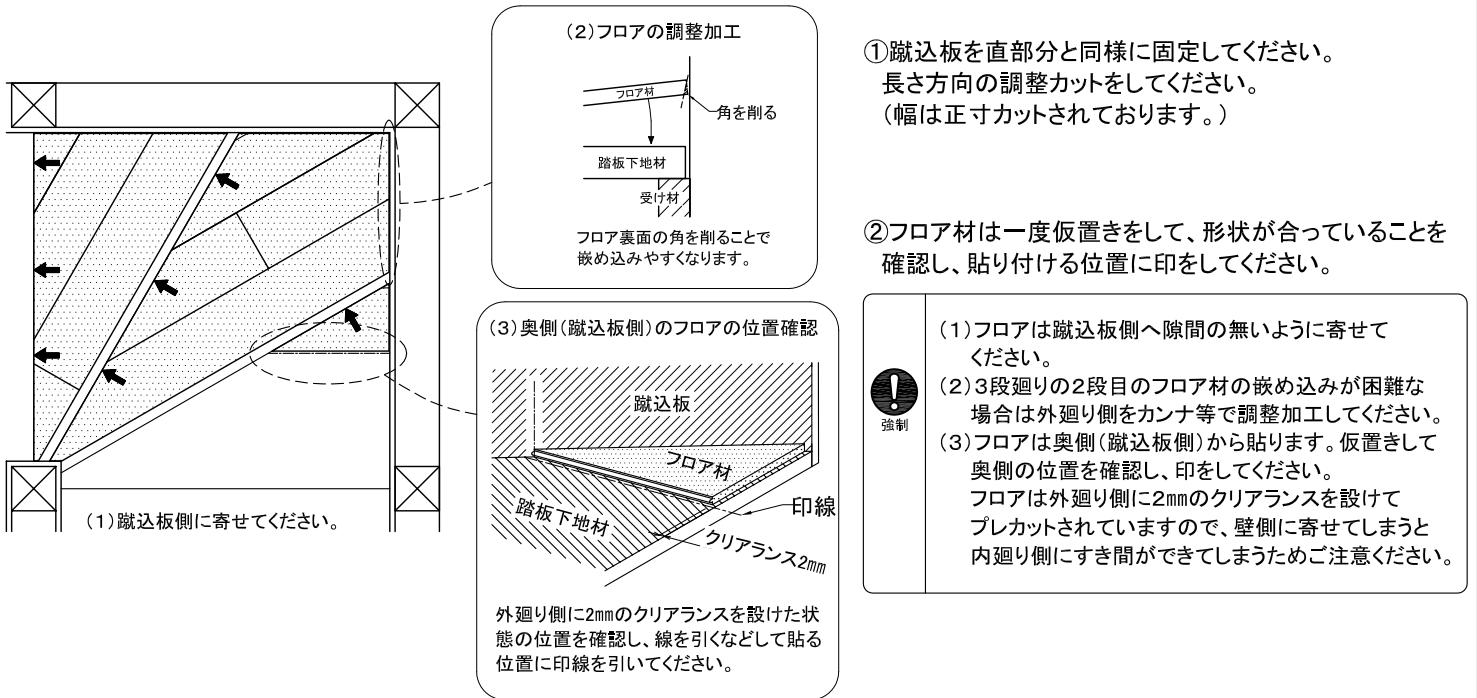


段鼻材を固定してください。



※同梱のスリムビスL=25mmを使用してください。
※ビスは頭が溝と平滑になるまで打ち込んでください。
※ビスを端部に打つ時は段鼻材が割れないように注意してください。

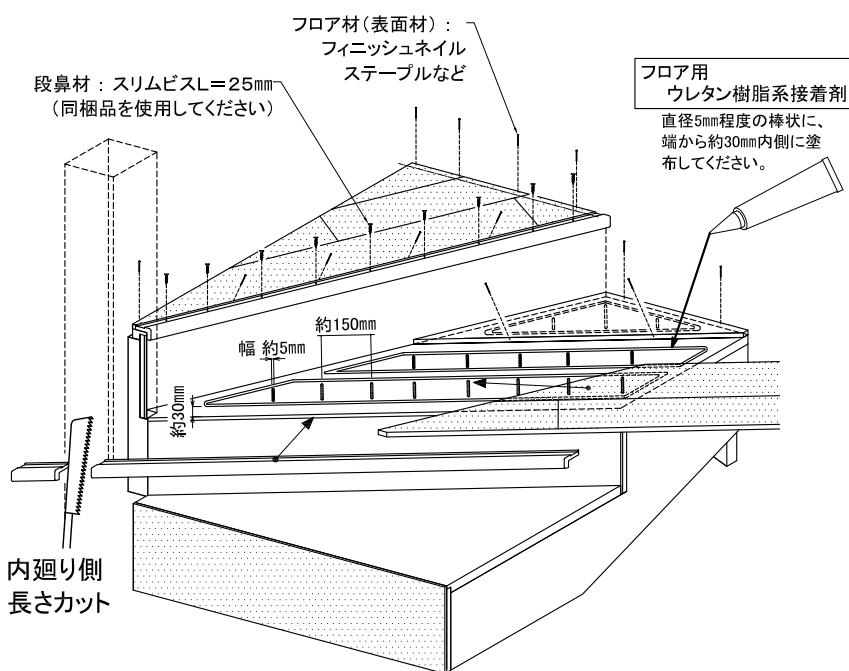




① 蹊込板を直部分と同様に固定してください。
長さ方向の調整カットをしてください。
(幅は正寸カットされております。)

② フロア材は一度仮置きをして、形状が合っていることを確認し、貼り付ける位置に印をしてください。

- 強制**
- (1) フロアは蹴込板側へ隙間の無いように寄せてください。
 - (2) 3段廻りの2段目のフロア材の嵌め込みが困難な場合は外廻り側をカンナ等で調整加工してください。
 - (3) フロアは奥側(蹴込板側)から貼ります。仮置きして奥側の位置を確認し、印をしてください。
フロアは外廻り側に2mmのクリアランスを設けてプレカットされていますので、壁側に寄せてしまうと内廻り側にすき間ができてしまうためご注意ください。



③ 奥(蹴込板側)から順にフロア材を固定してください。

- 強制**
- *踏み鳴り防止のため必ずフロア用の接着剤を使用してください。
 - *フロアの繋ぎ目のさね部分にもフィニッシュネイルを打ち込んでください。
 - *フロア材の反りなどによる浮きが無いことを確認してください。

④ 段鼻材固定してください。

段鼻材は長さ調整カットが必要です。外廻り側はあらかじめカットされておりますので、内廻り側をカットしてください。

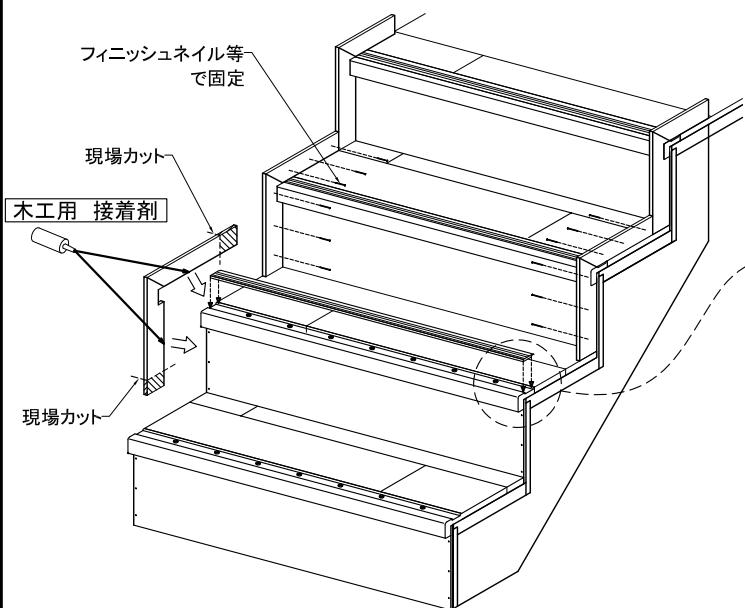
- 強制**
- *同梱のスリムビスL=25mmを使用してください。
 - *ビスは頭が溝と平滑になるまで打ち込んでください。
 - *ビスを端部に打つ時は段鼻材が割れないように注意してください。

注意

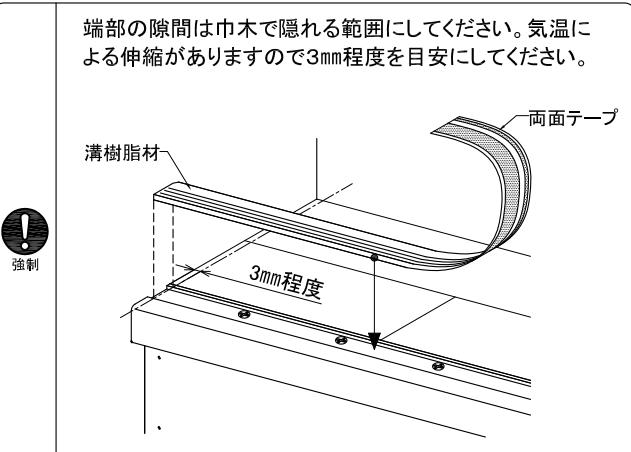
接着剤が表面についた場合は速やかに雑巾で拭き取って下さい。特にウレタン接着剤は硬化時に発泡増量して繋ぎ目から吹き出る恐れがあります。固まると取れませんのでご注意ください。

【7】直部溝材、巾木の取付け

P.07



- ①溝樹脂材を階段に合わせて長さカットしてください。
裏面に両面テープが貼られていますので、剥離紙を剥がしてから段鼻材の溝に嵌め込んでください。



- ②踏面、蹴上げに合わせて巾木をカットしてください。

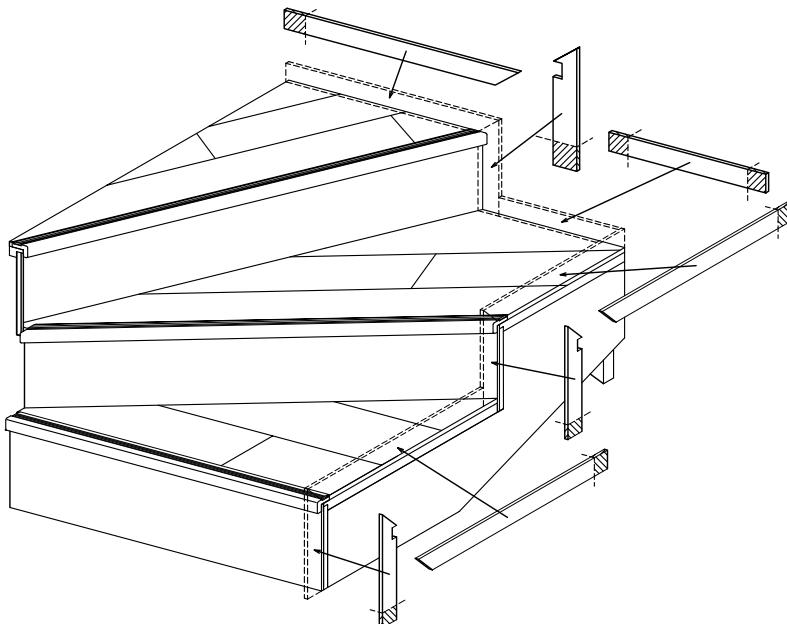


※各段の寸法が合わない事が有りますので、1段毎に合わせてカットしてください。

- ③巾木の裏面に接着剤を塗布し、
フィニッシュネイル等で止めてください。

廻り部溝材、巾木の取付け

- ④直部分と同様にして、溝樹脂材を嵌め込んでから巾木を取り付けてください。



★階段取り付けの最後に。

- ①階段取り付けの最後に、階段が正しく設置されているか、軋みや搖れが無いかご確認ください。

また、キズや塗装の欠けが無いか確認し、必要に応じて補修を行なってください。

- ②階段施工後はゴミや埃などを取り除き、化粧面の養生を行ってください。

※その際、養生テープは市販の養生テープをお使いください(塗装の剥れやキズの原因となります)。



木質商品は基本的に水気を嫌います。水や洗剤でぬれたままにしておくとシミ、変色、カビの原因となる事が
ありますのでご注意ください。

○お問い合わせ先

プレイリー・ホームズ株式会社

愛知県名古屋市東区葵3-7-14 IMYビル7F
TEL:052-930-7855